

第44回和歌山臨床細胞学会 総会・学術集会

-プログラム-

平成31年2月2日(土)
(12:00~16:20)

紀南病院講堂
和歌山県田辺市新庄町46-70
(TEL 0739-22-5000)

学術集会長 峰 高義
(紀南病院 中央臨床検査部)



SEIKO MEDICAL

医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

医療・保健・福祉・介護の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。



■本 社

〒640-8287 和歌山市築港6丁目9番地の10
TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223

■大阪支店

〒595-0012 泉大津市北豊中町2丁目5番28号
TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619

■医大前営業分室

〒641-0012 和歌山市紀三井寺768番地の13
TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781

■田辺営業所

〒646-0011 田辺市新庄町2744番地
TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578

■新宮営業所

〒647-0072 新宮市蜂伏20番22号
TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133

■奈良営業所

〒632-0082 天理市荒蒔町56番地の4
TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810

生命を守る人の環境づくり

 SHIP HEALTHCARE GROUP

セイコーメディカル株式会社

第 44 回学術集会開催にあたって

第 44 回学術集会長 峰 高義
(紀南病院 中央臨床検査部)

この度、第44回和歌山臨床細胞学会学術集会会長を務めさせていただくことになりました。紀南地方での開催は久しぶりですが、あっという間に過ぎたように感じ、時の流れの速さに改めて驚かされます。今回の開催にあたり、会員の皆様から色々なご指導、ご協力を頂きましたことに心からお礼申し上げます。

プログラムの構成は昨年と同じく、特別講演1題、教育講演1題、スライドカンファレンスとなっています。特別講演では富山赤十字病院 病理診断科 病理診断部長の前田宜延先生に「子宮内膜病変— 細胞診からのアプローチ」をご講演していただきます。子宮内膜細胞診での判定には、いまだに苦慮することが多く、難しいと感じている領域です。前田先生には、細胞の見方、考え方のほか、液状化処理法による子宮内膜細胞診の免疫細胞学的な最新の知見についてご講演して頂けるものと楽しみにしています。教育講演では国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科 臨床教授の大田喜孝先生に「髄液細胞診による中枢神経系病態へのアプローチ」についてご講演していただきます。髄液の標本作製の方法から細胞の見方まで豊富なご経験から得られたポイントをご教授していただけるものと楽しみにしております。スライドカンファレンスについては子宮内膜、甲状腺、髄液、肝胆膵の4分野について、ご提示、ご討論いただく予定です。また例年行っておりますフォトコンテストではアカデミックで芸術性の高い写真をご覧いただけるものと思っています。

紀南地方は海、山、温泉など時期を問わず楽しめる所が多く存在します。休日には混雑も予想されますが、学術集会と共に時間が有りましたら、ぜひお楽しみいただきたく思います。

最後に本学術集会が実り多いものになりますことを願います。

プログラム

総合司会：相根 弘史（南和歌山医療センター臨床検査科）

【開会の辞】（12:00～12:05） 学術集会長 峰 高義（紀南病院 中央臨床検査部）

【総 会】（12:05～12:35）

- (1) 平成30年度事業報告・平成31年度事業予定 和歌山臨床細胞学会 理事 土居 淳子
- (2) 平成30年度会計報告・平成31年度予算案 和歌山臨床細胞学会 理事 田中 真理
- (3) 理事会報告 和歌山臨床細胞学会 会長 村田 晋一
- (4) 新・細胞診指導医、細胞検査士の紹介 和歌山臨床細胞学会 会長 村田 晋一

（休憩 5分）

【学 術 集 会】

① スライドカンファレンス Part I（12:40～13:20）

座長：木下 勇一（和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部）

栗山 行央（紀南病院 中央臨床検査部）

- (1) 子宮体部 出題者 田中 真理（和歌山労災病院 中央検査部）
回答者 笠松 功（紀南病院 中央臨床検査部）
- (2) 甲状腺 出題者 稲垣 充也（公立那賀病院 臨床検査科）
回答者 楠木 結香（和歌山労災病院 中央検査部）

（休憩 5分）

② 教育講演（13:25～14:10）

座長：峰 高義（紀南病院 中央臨床検査部）

「髄液細胞診による中枢神経系病態へのアプローチ」

国際医療福祉大学福岡保健医療学部医学検査学科 臨床教授

大田 喜孝 先生

（休憩 10分）

③ スライドカンファレンス Part II (14:20~15:00)

座長：紙谷 知子（公立那賀病院 臨床検査科）

永井 宏和（和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部）

(3) 髄液 出題者 西野 勝（和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部）

回答者 阪田 幸範（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部）

(4) 肝胆膵 出題者 奥村 寿嵩（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部）

回答者 藤本 正数（和歌山県立医科大学 人体病理学教室/病理診断科）

（休憩 10 分）

④ 特別講演 (15:10~16:10)

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス(株)

座長：小島 史好（和歌山県立医科大学 人体病理学教室/病理診断科）

「子宮内膜病変－細胞診からのアプローチ」

富山赤十字病院 病理診断科 病理診断科部長

前田 宜延 先生

【次期学術集會会長挨拶】 (16:10~16:15)

真谷 亜衣子（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部）

【閉会の辞】 (16:15~16:20) 和歌山臨床細胞学会 会長 村田 晋一

懇親会 (17:00~)

ガーデンホテル ハナヨ 6階セレナーデ

〒646-0023 和歌山県田辺市文里2丁目36-40

電話：0739-26-0874

* 学術集會会場(時間外出入口の付近)から懇親会場まではバス(16:40 発)がでます。

会議室 4,5 にて

- ドリンクサービスを用意しておりますので(無料)、ご自由にご利用ください。

(提供：松浪硝子工業株式会社)

- 顕微鏡を用意しております。スライドカンファレンスの症例を鏡検していただけます。

会場の案内（紀南病院講堂）

〒646-8588 和歌山県田辺市新庄町4-6-70
TEL 0739-22-5000



【アクセス】

- ・JR紀伊田辺駅から タクシーのご利用をお勧めします(10分程度)
(バスは紀伊田辺駅 10:51 発、11:57 発がございます。)
- ・自家用車をご利用の方は、専用駐車場をご利用ください。(無料)

【会場および時間】

- ・総会、学術集会 (12:00~16:20) …講堂 (3階)
- ・懇親会 (17:00~) …ガーデンホテルハナヨ 6階セレーナテ (送迎バスあります)
- ・細胞検査士総会 (10:30~11:15) …会議室 1.2 (3階)
- ・理事会 (11:20~11:50) …会議室 1.2 (3階)

【会場】



■ 受付

- ・会場前で11時30分から受付を開始します。
- ・参加費は2,000円、懇親会費は3,000円です。
- ・すでに会員の方は年会費(医師 3,000円、医師以外2,000円)の受付もしております。
- ・新入会も受付しております(年会費をお支払いください)。
- ・出席の先生方には日本医師会生涯教育講座参加証、日本産婦人科医会研修シールが配布されます。(今回の学術集会では日本産婦人科学会専門医制度研修出席証明シールは配布されません)
- ・CTの方は、クレジットはJSC10点、IAC 4点です。

■ 発表者へのご案内

➤ テータの準備

- ・演題発表と質疑は以下の時間をお願いします。

教育講演:発表時間40分、質疑5分

特別講演:発表時間55分、質疑5分

スライドカンファレンス:

症例呈示1分、回答者回答3分、会場回答2分、出題者解説7分、討論7分

- ・パソコンプレゼンテーション(プロジェクター1面)での発表に限らせていただきます。
- ・会場に発表用のWindowsパソコンを準備します。(Windows8、office 2013使用予定です。)
- ・スライドのサイズは「4:3(標準)」をお願いいたします。
- ・テータはPowerPoint 2010、2013で作成ください。
- ・文字化けを防ぐため、念のためフォントは下記のものをご使用ください。
日本語:MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
英語:Arial, Century, Century Gothic, Times New Roman
- ・ご自身のPC(Mac、Windows)をお使い頂くことも可能です。動画を含むご発表の場合、再生エラーを防ぐためにご自身のノートパソコンでのご発表をお願い致します。ご自身のPCをお使いになる場合は、接続は各自の責任でお願い致します。
特にMacの場合はご自身のパソコンをご用意いただき「コネクタ」の準備をよろしくお願い致します。
- ・発表テータは、ファイル名を「演題番号 氏名」にしてください。

➤ PC受付(教育講演、特別講演の演者の先生方)

- ・発表の60分前までに受付をお願い致します。
- ・発表テータは、USBメモリーでお持ちください。USBメモリーでお持ちいただいたファイルを、当方の発表用PCにコピーさせていただきます。(終了後確実に削除致します。)

■ 懇親会のご案内

懇親会を17時~ガーデンホテルハナヨ(6階セレナーテ)で行います。

送迎バスが16:40に出発予定です。終了後も、紀伊田辺駅、紀南病院などに送迎があります。

ふるってご参加ください。

和歌山臨床細胞学会登録用 E メールアドレス送信のお願い。

和歌山臨床細胞学会では、連絡は E メールで送らせていただきます。
wsc@wakayama-med.ac.jp まで登録する E メールアドレス、氏名を
送ってくださるようお願いいたします。(右の QR コードからも読み取れます)



抄録集

バーチャルスライドに関して
スライドカンファレンスの症例を閲覧できます。

【閲覧方法】

- ① 以下のサイトにアクセスしていただき、
Username、Password とともに「wscc」（すべて小文字）を打ち込んでください。
<http://w-hupath.wakayama-med.ac.jp/>（右上の QR コードからも読み取れます）
- ② 「Browse Images」をクリックしてください。
- ③ 「和歌山臨床細胞学会」をクリックしてください。
- ④ 「第 44 回学術集会スライドカンファレンス」をクリックしてください。
- ⑤ バーチャルスライドをクリックして観察してください。
※レイヤーは「Ctrl」を押しながらマウスのホイールを回していただくか、
左上の「0 μm」の表示をクリックすると変わります。



閲覧

【事前投票方法】

以下のサイトにアクセスしていただき、投票をお願いします。
<https://goo.gl/forms/cWpDpFnoWYUFA20B2>
（右の QR コードからも読み取れます）



投票

教育講演

座長：峰 高義（紀南病院 中央臨床検査部）

「髄液細胞診による中枢神経系病態へのアプローチ」

国際医療福祉大学福岡保健医療学部医学検査学科 臨床教授

大田 喜孝 先生

脳脊髄液（髄液）の多くは側脳室の脈絡叢で産生され、脳や脊髄の組織全体を包み込むようにして循環することから、中枢神経系の病態を知るうえで貴重な材料となる。これは細胞形態学の領域においても例外ではないが、一度採取した髄液中の細胞変性速度は極めて早く、そのため標本作製には迅速性と少しのテクニックを必要とする。しかし、ルールに従い細胞を標本上に移し替えてやると、髄液細胞診がいかに中枢神経系の病態をよく反映するかを理解することができる。たとえば、各種中枢神経系感染症では、髄膜炎の種類によって特徴的な細胞組成を示し感染源の推定が可能であるし、血性髄液を呈した場合、その原因が髄液採取時の医原的出血によるものなのか、あるいは髄液腔内での病的出血によるものなのかの鑑別も比較的容易に行なえる。一方、悪性疾患における細胞診では白血病の髄膜浸潤の監視に重要な役割を果たすし、原発性脳腫瘍やその他の転移性腫瘍においても、標本上に腫瘍細胞を捉えることができれば、積極的な組織型の推定も可能である。原因不明の神経症状を呈し、髄液細胞診によって始めて腫瘍性疾患が明らかにされることも少なくはない。

当日の講演では髄液細胞診に必要な基礎的事項（解剖・生理）をはじめとし、髄液細胞塗沫標本の作製法、髄液細胞増多を来たす各種中枢神経系疾患（髄膜炎・脳炎などの各種神経系感染症、クモ膜下出血、原発性脳腫瘍、白血病・悪性リンパ腫の髄膜浸潤、癌腫の髄膜浸潤）の細胞所見について述べる。

ご略歴	<p>1974年 銀杏（ぎんきょう）学園短期大学衛生技術科卒業 1975年 銀杏学園短期大学専攻科卒業（生理学専攻） 1993年 医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 中央臨床検査センター技師長 2007年 社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 情報システム部部长 2013年 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科 臨床教授</p>
所属学会	<p>日本臨床細胞学会福岡県支部理事（1998年4月～現在） 日本臨床衛生検査技師会・医学検査査読委員（2002年4月～現在） 日本臨床細胞学会細胞検査士会役員（2004年1月～現在） 日本臨床細胞学会九州連合会理事（2010年4月～現在）</p>
その他（受賞など）	<p>著 書</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 髄液細胞アトラス：朝倉書店 2) 基礎から学ぶ 細胞診のすすめ方（分担執筆）：近代出版 3) 髄液検査法「2002」：日本臨床衛生検査技師会編（分担執筆） 4) 髄液検査技術教本：日本臨床衛生検査技師会編（分担執筆） <p>賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・34回小島三郎記念技術賞（1999年5月）受賞内容『脳脊髄液の細胞形態学的研究』 ・日本臨床細胞学会秋期大会50回記念 学会貢献賞（2011年10月）

特別講演

座長: 小島 史好 (和歌山県立医科大学 人体病理学教室/病理診断科)

「子宮内膜病変—細胞診からのアプローチ」

富山赤十字病院 病理診断科 病理診断科部長
前田 宜延 先生

子宮内膜細胞診は、1990 年頃より内膜腺上皮細胞集塊の組織構築や間質細胞との関係を考慮する判定方法が採り入れられるようになった。内膜腺上皮細胞の集塊として管状・シート状集塊、拡張・分岐集塊、不整形突出集塊、乳頭・管状集塊などが代表的なものであり、各々の意義について検討がなされ理解も深まり、内膜細胞診の精度が向上するようになった。ここ数年の間で直接塗抹法に加えて液状処理法による標本作製も提唱され、この液状処理法の導入に伴い細胞像がより明瞭化され内膜腺上皮細胞集塊内における組織構築のあり方や間質細胞との関係もよりよく観察することが可能となった。液状内膜細胞診標本における診断のアルゴリズムも提案され、感度も 90%以上まで向上したといった報告がなされている。しかしながら不整形集塊や重積性を示す集塊がみられる ATEC-US もしくは ATEC-A とされる症例では、細胞形態所見のみから良性病変と腫瘍性病変との鑑別に難渋することがしばしば経験される。これら難渋する症例の問題点について考察したい。

これまで子宮内膜癌は大きく 1 型と 2 型に分類され、それぞれにおける遺伝子の異常も検討されてきた。最近では次世代型のシーケンサーの登場により分子生物学的な異常に基づいたひとつの方向性が示され、PTEN, KRAS, CTNNB1, ARID1A, p53, マイクロサテライト不安定性等の異常についての整理が進んでいる。

液状処理標本では分子生物学的な異常の検討を免疫細胞学的に行うことが可能で、良悪の鑑別のみならず、腫瘍の組織型推定にも役立つものであるといわれている。組織標本における染色性との比較でも大きな差はなく、診断の整合性をはかる上でも有用であるとされている。免疫細胞学的手法を併用することにより、形態所見のみでは解決し得なかった様々な内膜病変の性状をより明確にすることが可能であると考えられるが、これからの内膜細胞診のあり方についても言及したいと考えている。

<p>ご略歴</p>	<p>平成 4 年 富山医科薬科大学医学部（現富山大学医学部）卒業 平成 8 年 富山医科薬科大学大学院（形態学系）修了 平成 8 年 富山医科薬科大学附属病院病理部医員 平成 11 年 富山赤十字病院病理部兼検査副部長 平成 13 年 富山赤十字病院病理部長 平成 26 年 富山赤十字病院病理診断科部長 平成 28 年 富山赤十字病院第 1 病理診断科部長 平成 30 年 富山赤十字病院病理診断科部長</p>
<p>所属学会</p>	<p>日本臨床細胞学会会員（日本臨床細胞学会評議員，倫理委員） 日本病理学会会員（学術評議員，「診断病理」副編集長） 日本婦人科病理学会会員 日本婦人科腫瘍学会会員 日本肺癌学会会員</p>
<p>その他（著書）</p>	<p>子宮内膜細胞診アトラス 医学書院 液状化検体細胞診断マニュアル 篠原出版新社 実践から学ぶ婦人科細胞診 医療科学社</p>

スライドカンファレンス（1）子宮体部

出題者：田中 真理（和歌山労災病院 中央検査部）

年齢：50 歳代

性別：女性

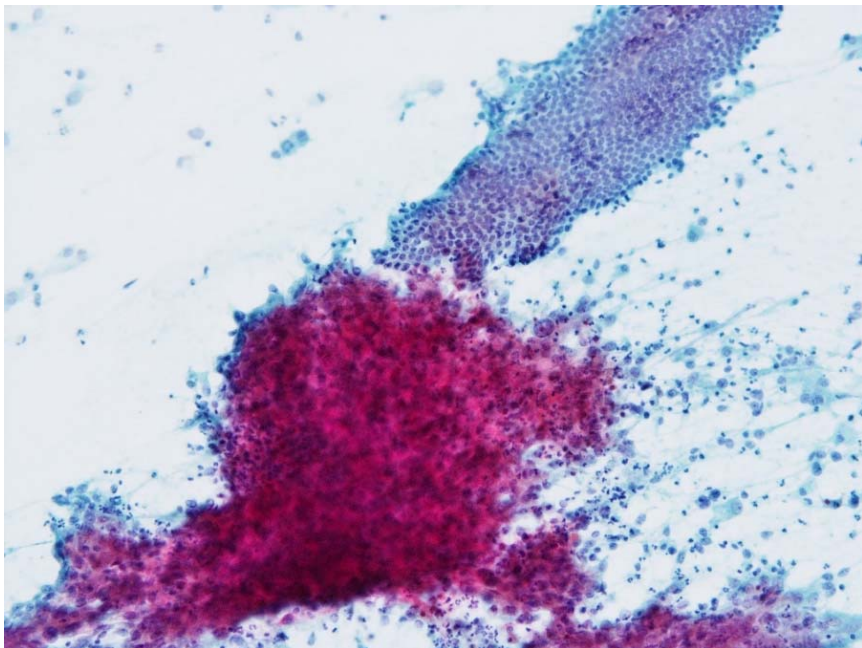
臓器：子宮体部

採取方法： エンドサーチ

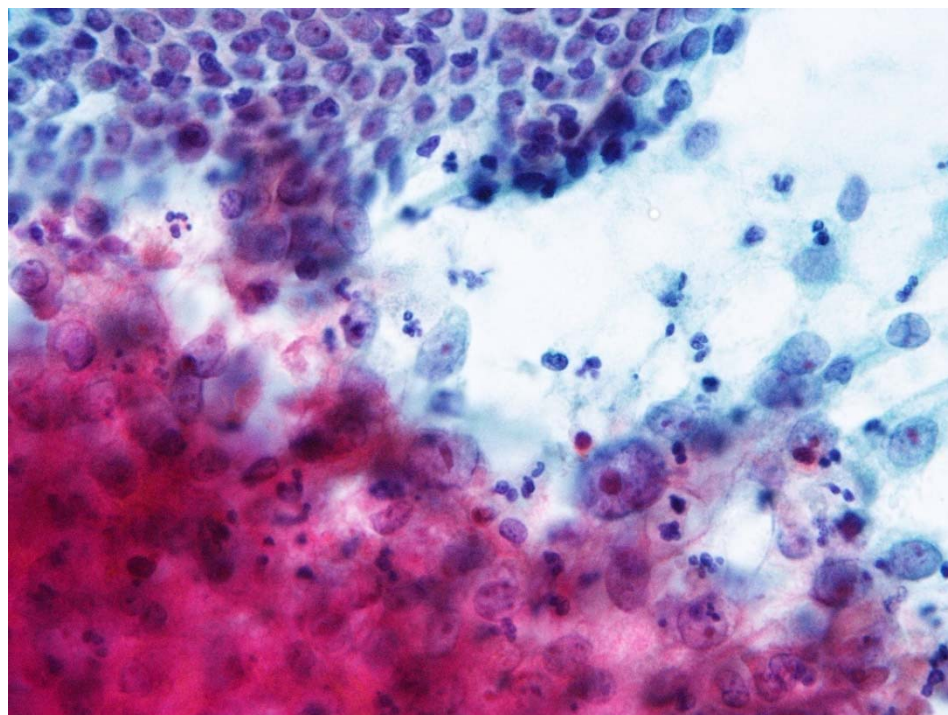
標本作製法：従来法

臨床経過：

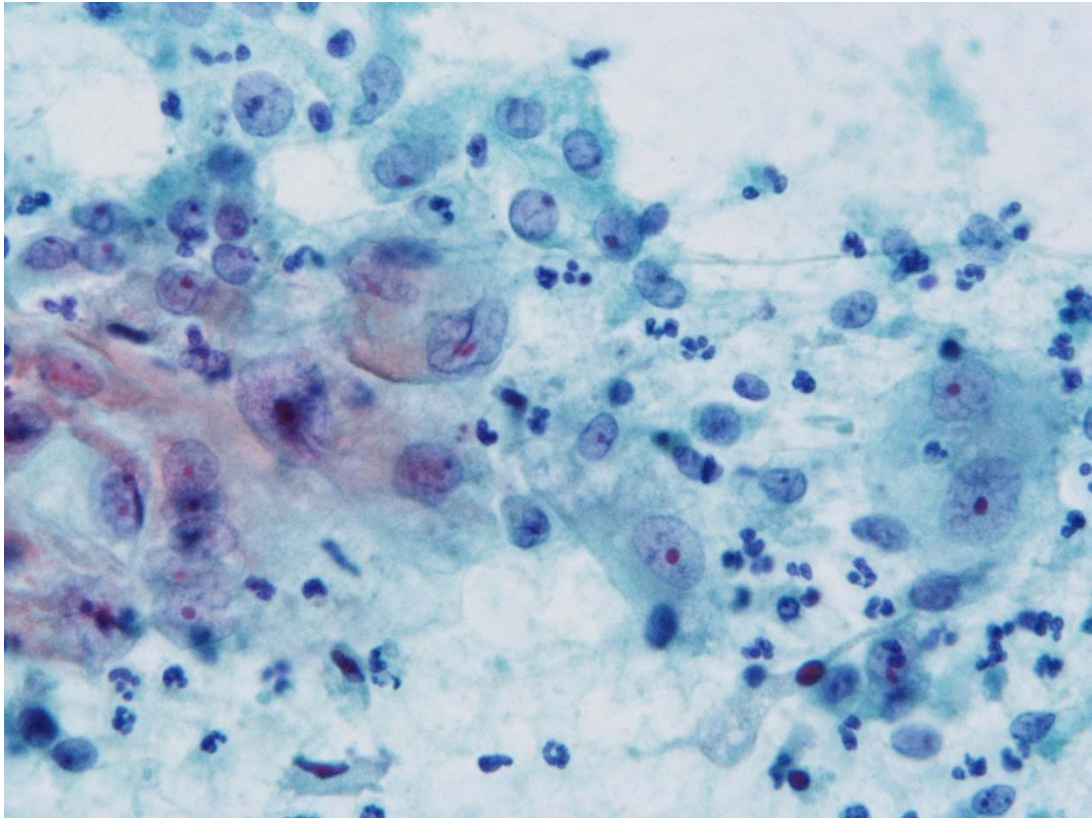
1 年前に Severe dysplasia にて円錐切除術施行後、経過観察中。5 ヶ月前に不正出血にて内膜細胞診施行 class II。今回も内診、エコー上異常なし、エコーにて内膜は薄い。



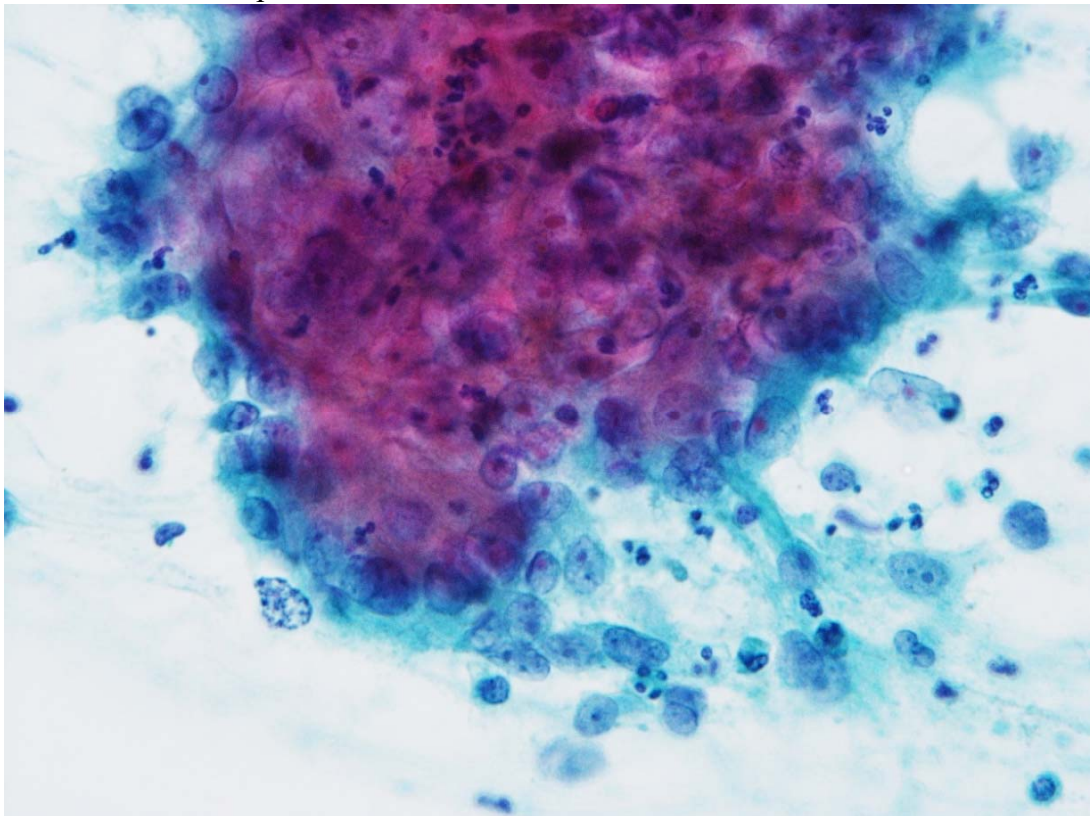
(対物 10 倍 Papanicolaou 染色)



(対物 40 倍 Papanicolaou 染色)



(対物 40倍 Papanicolaou 染色)



(対物 40倍 Papanicolaou 染色)

バーチャルスライド閲覧できます。(詳しくは p7)
Username、Password とともに「wsc」 (すべて小文字)



閲覧



事前投票

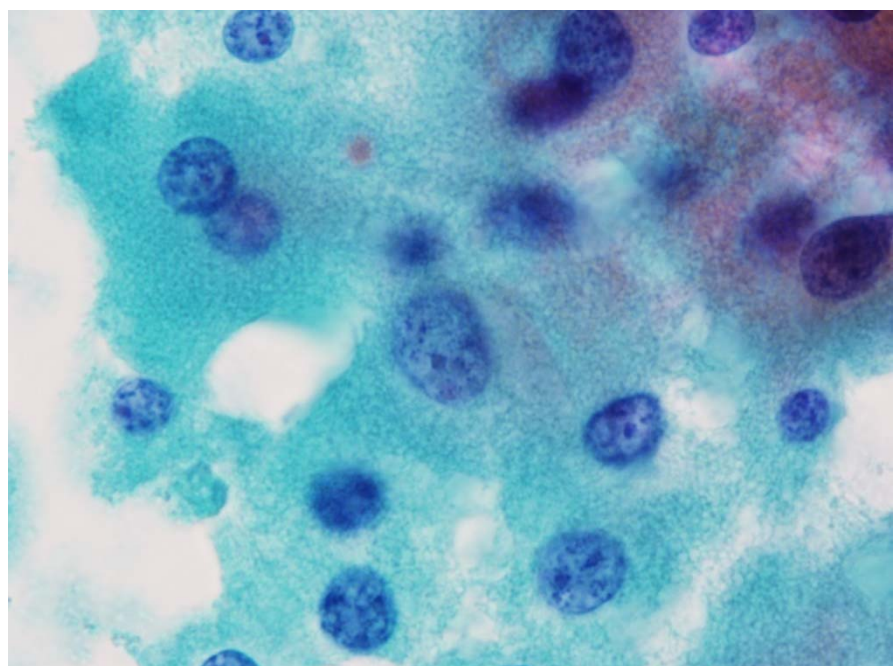
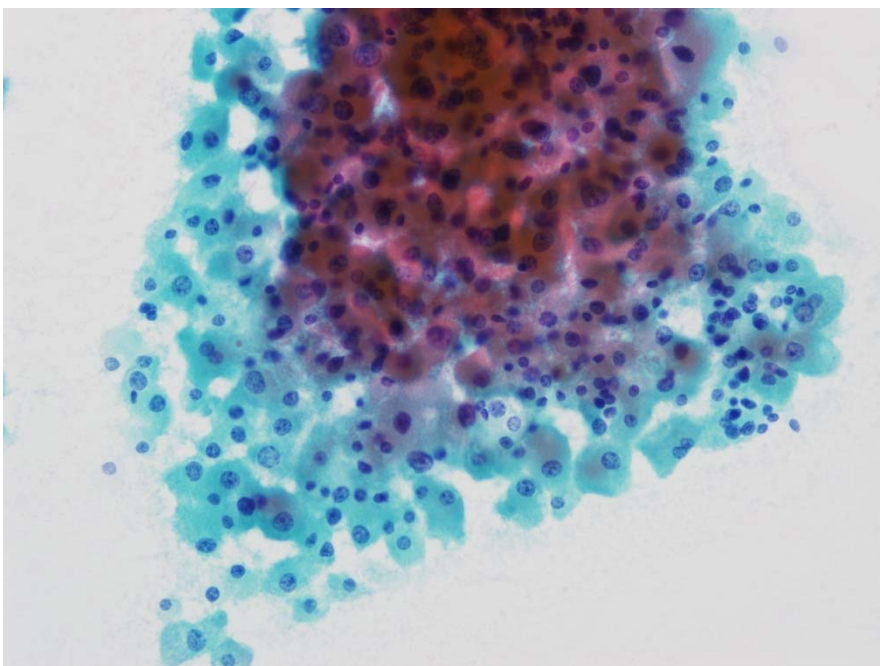
スライドカンファレンス (2) 甲状腺

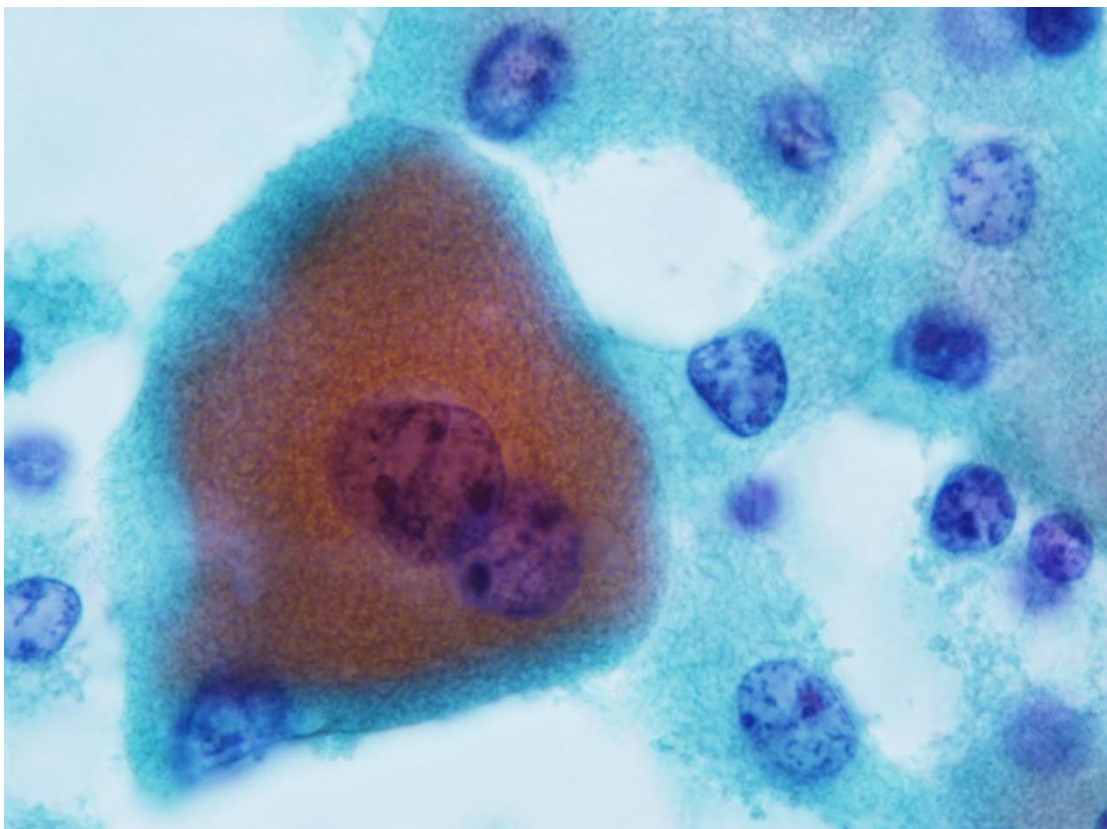
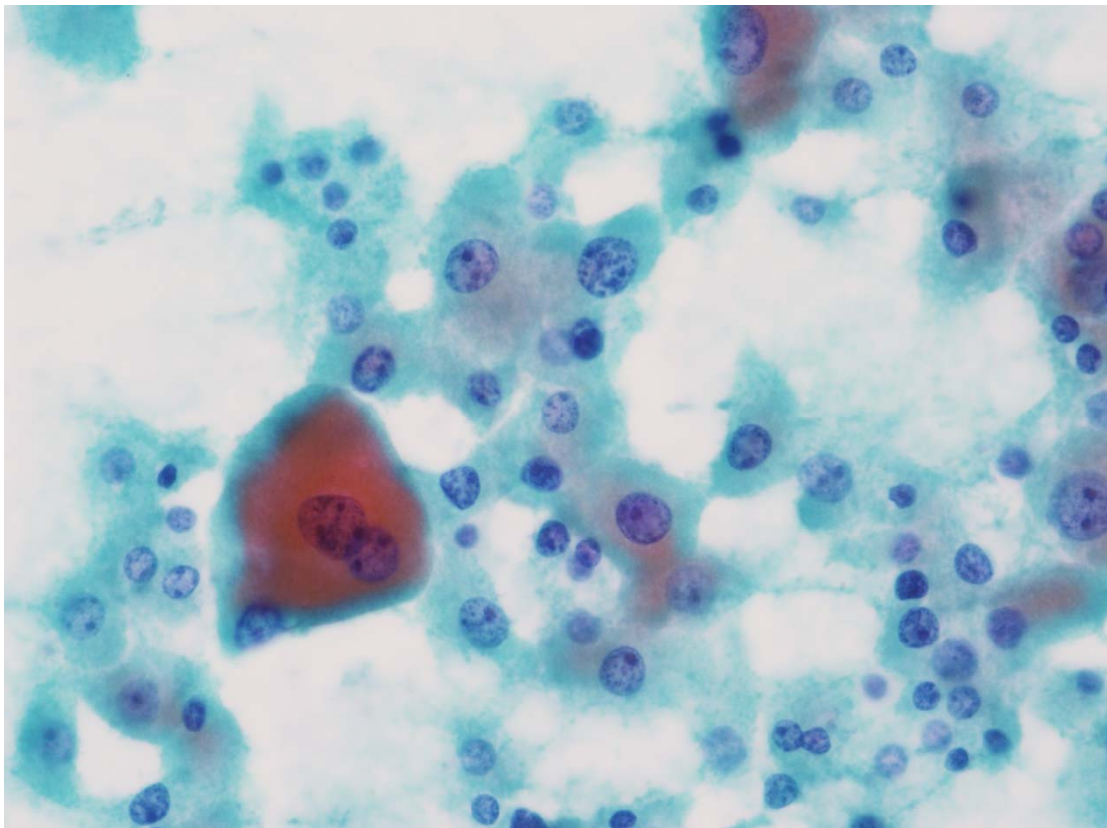
出題者：稲垣 充也（公立那賀病院 臨床検査科）

年齢：70 歳代 性別：女性

臓器：甲状腺 採取方法：術中迅速組織診材料 標本作製法：捺印標本

臨床経過：平成 27 年 5 月に右頸部腫瘍自覚し近医受診。甲状腺エコーで右葉に 3cm 大の充実性腫瘍認め手術目的に当院耳鼻科を受診，7 月に甲状腺右葉摘出術が行われた。術前の穿刺吸引細胞診では ClassII であったが，乳頭癌なども否定できないため術中迅速組織診が施行され，捺印細胞診を行った。





バーチャルスライド閲覧できます。(詳しくはp7)
Username、Passwordともに「wsc」(すべて小文字)



閲覧



事前投票

スライドカンファレンス (3) 髄液

出題者：西野 勝 (和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部)

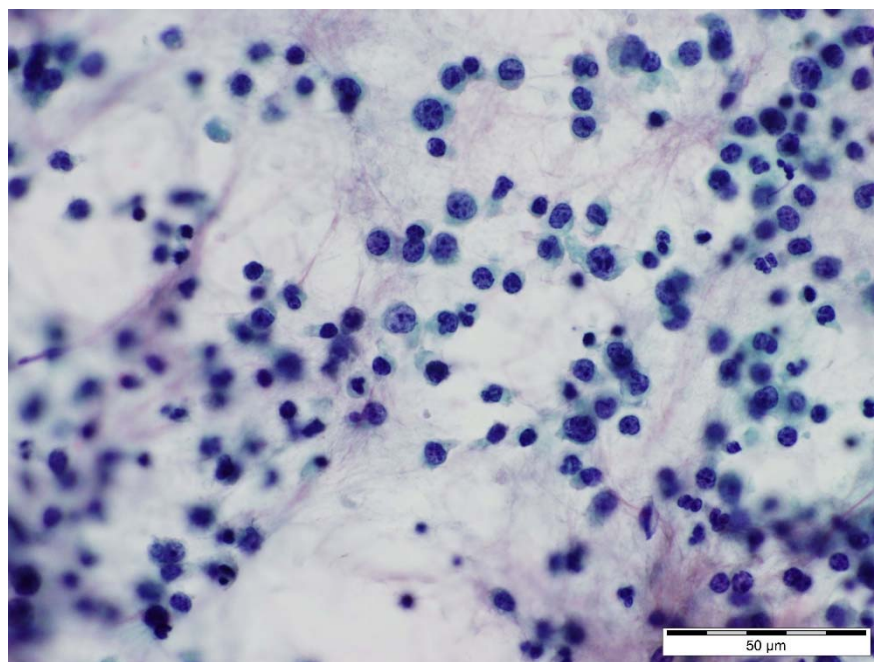
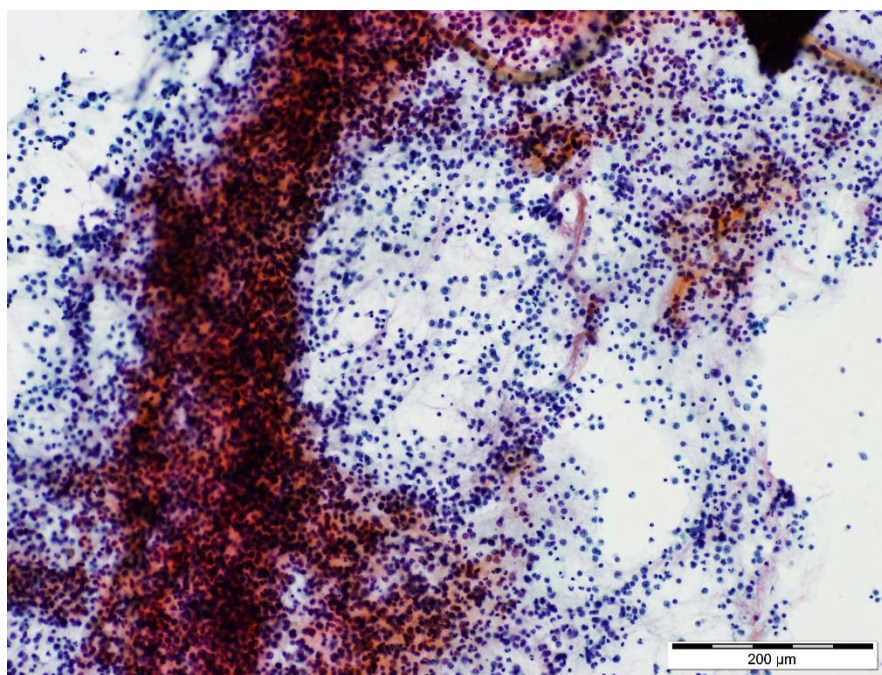
年齢：70 歳代 性別：男性

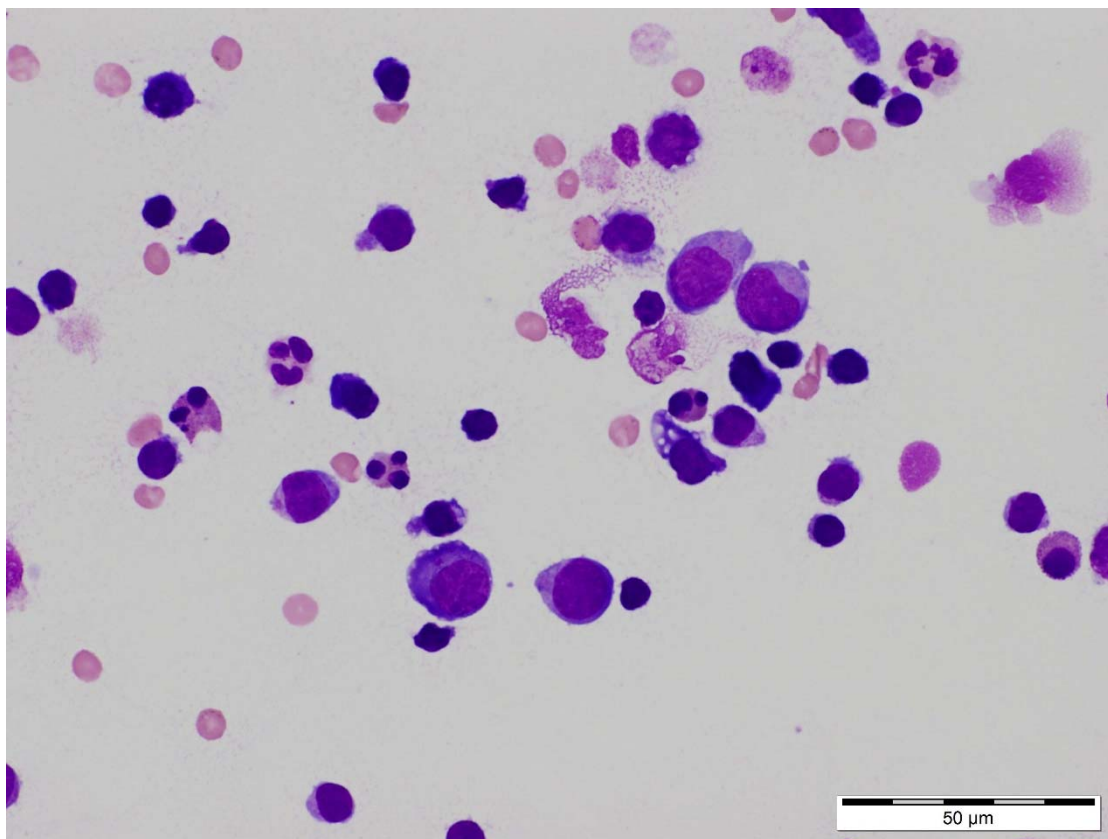
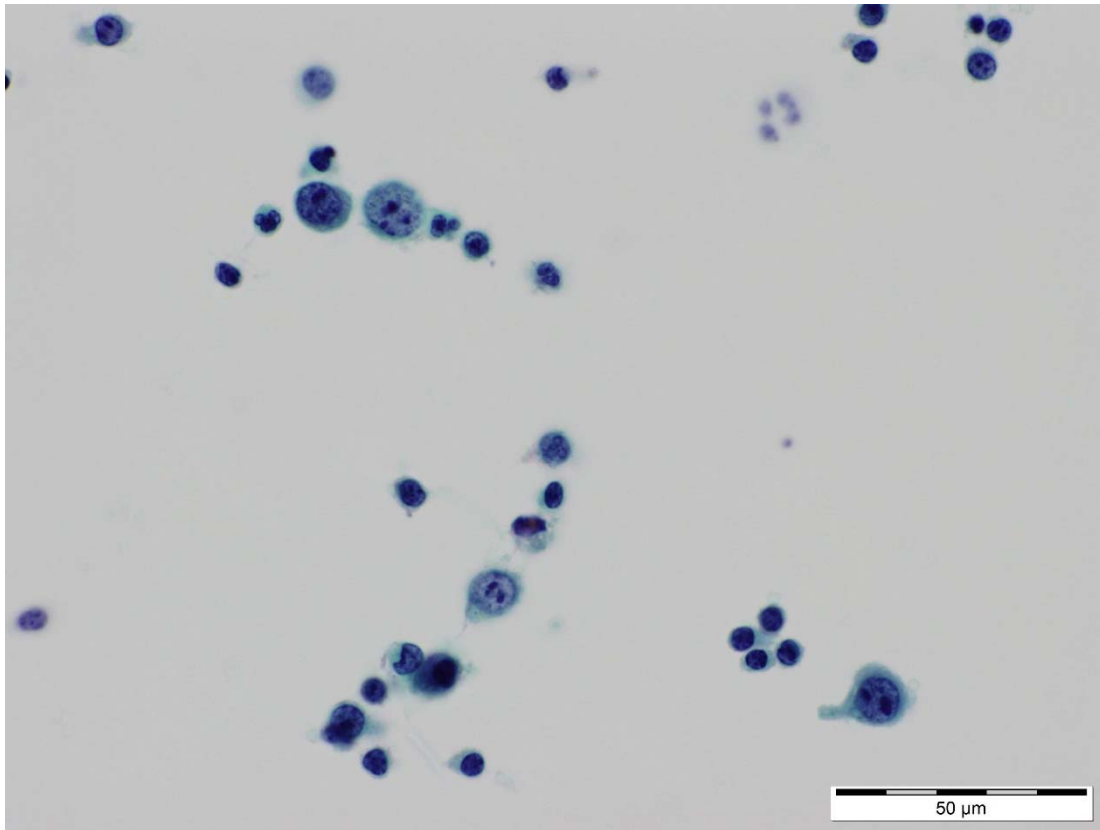
臓器：髄液 採取方法：穿刺 標本作製法：サイトスピン

臨床経過：

【主訴】意識レベル低下

【現病歴】認知障害や四肢の脱力から薬を服用していたが、3 日前より嘔気、異常行動、発熱、痙攣発作が出現した。当院救急搬送され、髄液検査が施行された。





バーチャルスライド閲覧できます。(詳しくは p7)
Username、Password とともに「wsc」 (すべて小文字)



閲覧



事前投票

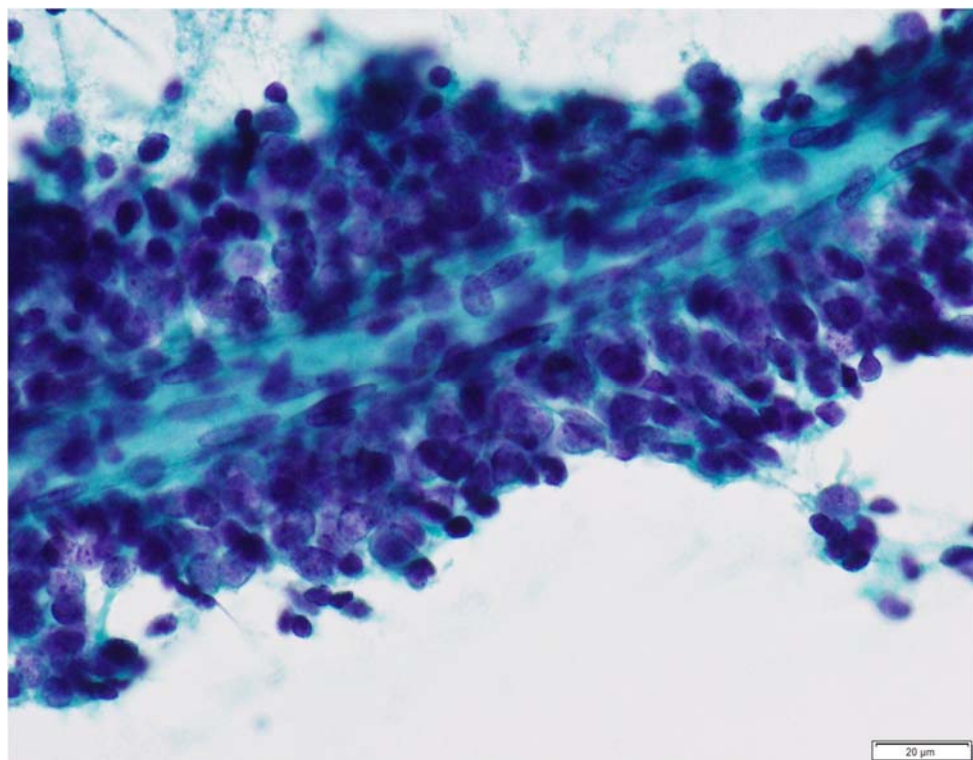
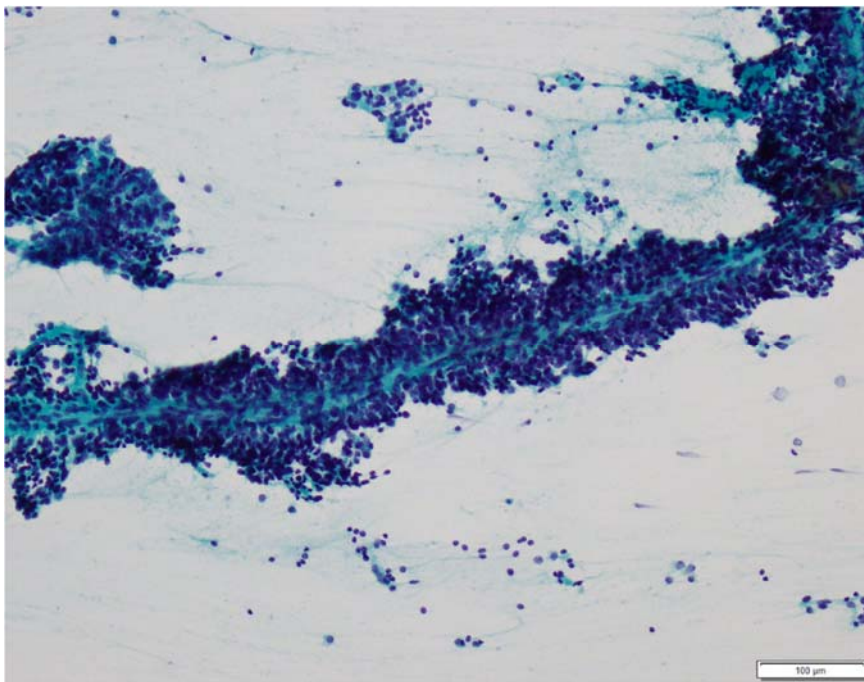
スライドカンファレンス (4) 膵

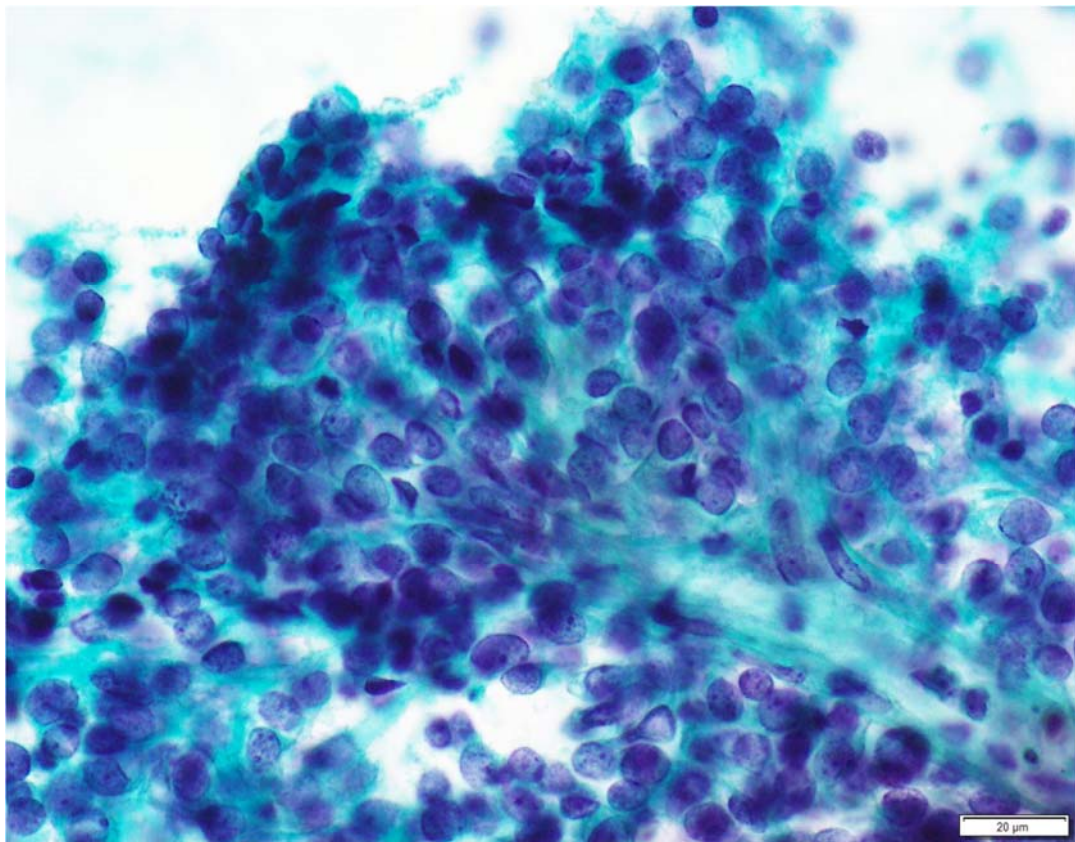
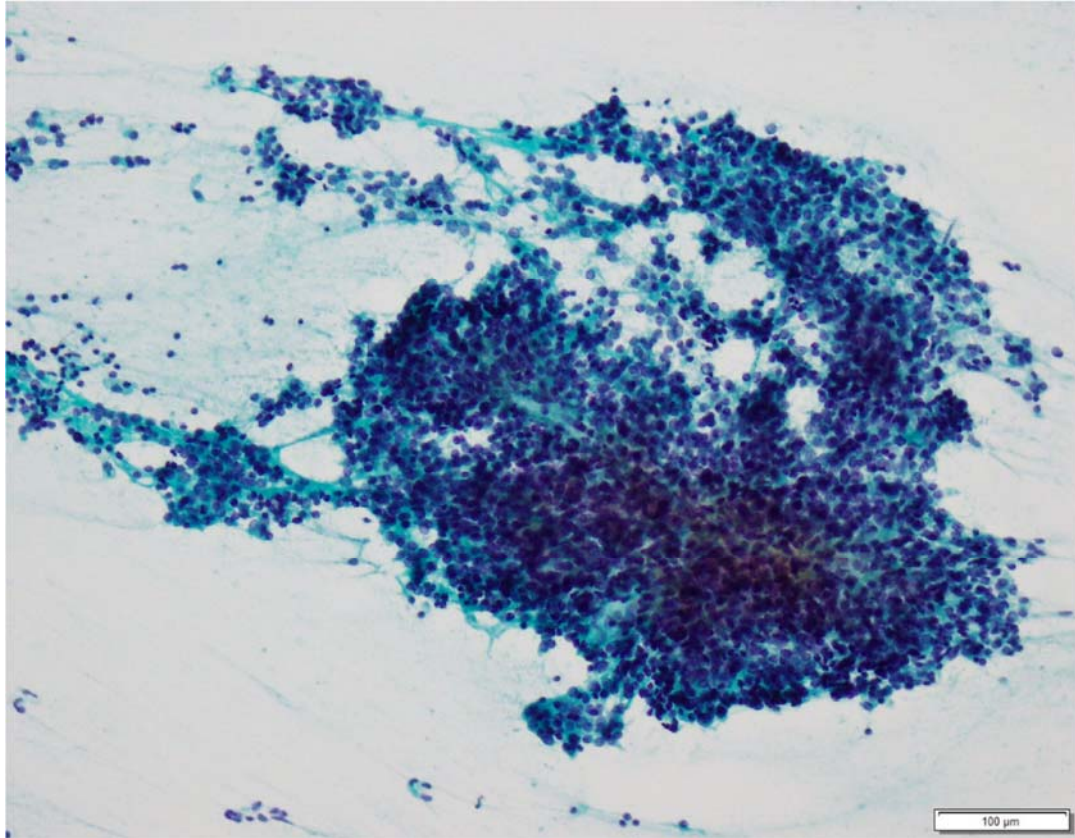
出題者：奥村 寿嵩（日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断部）

年齢：60 歳代 性別：女性

臓器：膵臓 採取方法：EUS-FNA 標本作製法：引き伸ばし法

臨床経過：乳癌術後化学療法施行により、既往の B 型肝炎の再活性化が疑われ消化器内科を受診。MRI 検査にて膵尾部腫瘍が指摘されたため EUS-FNA が施行された。





バーチャルスライド閲覧できます。(詳しくは p7)
Username、Password とともに「wsccl」(すべて小文字)

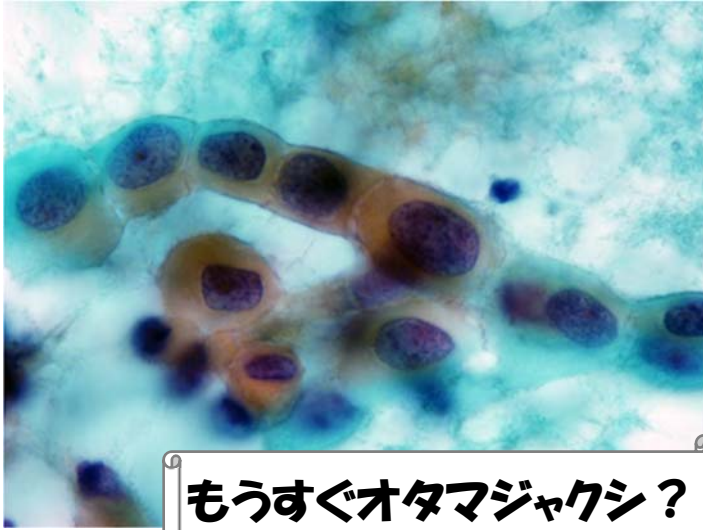


閲覧

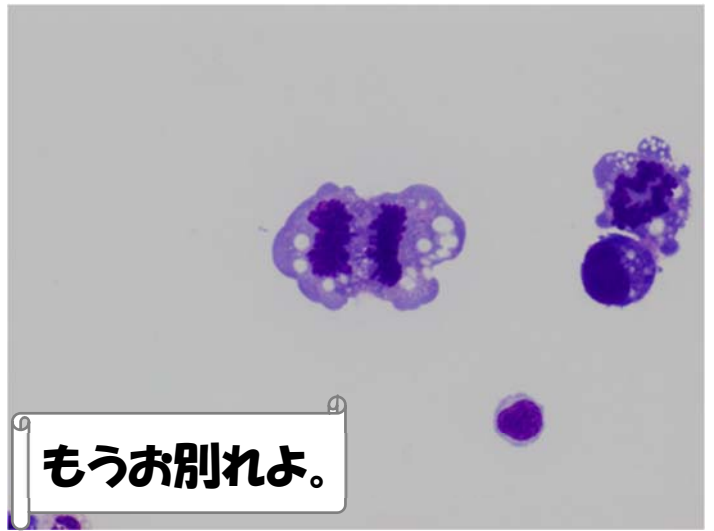


事前投票

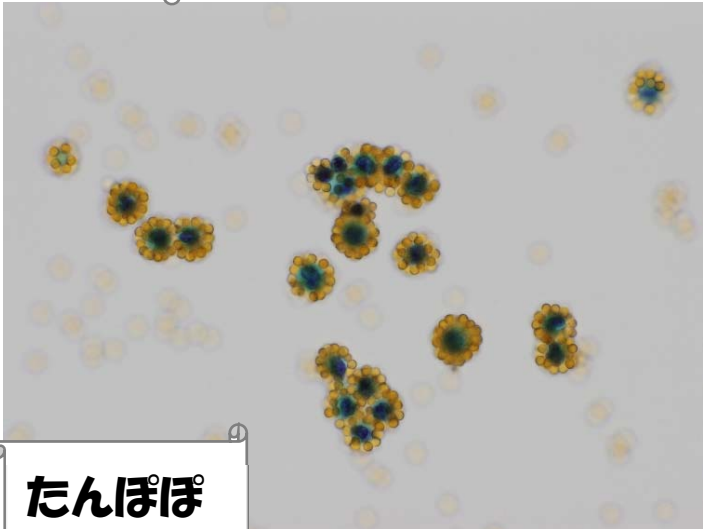
フォトコンテスト



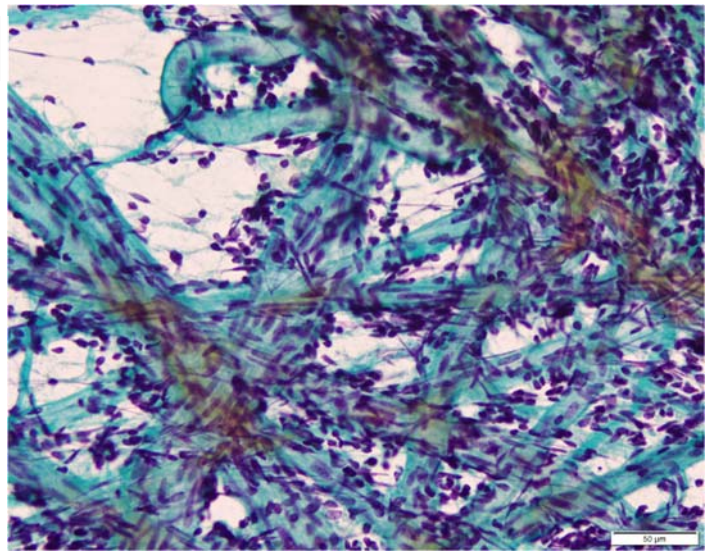
もうすぐオタマジャクシ？



もうお別れよ。



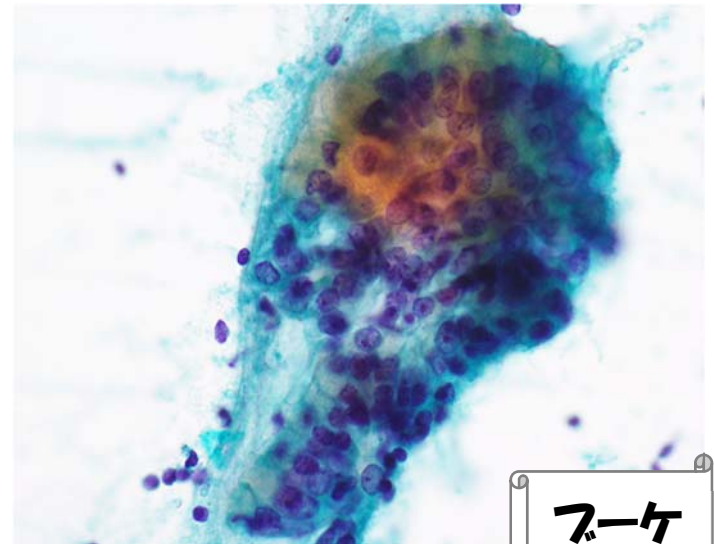
たんぽぽ



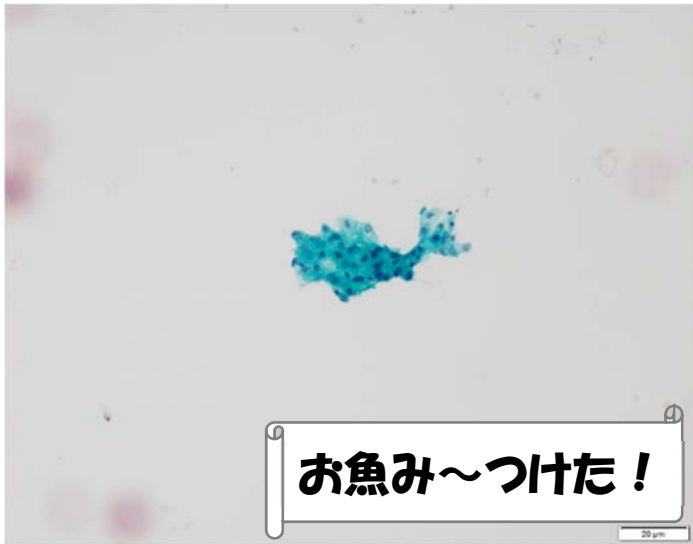
腫瘍の中のハイウエー



自然尿中に出現！
足多いけど…カメ？！

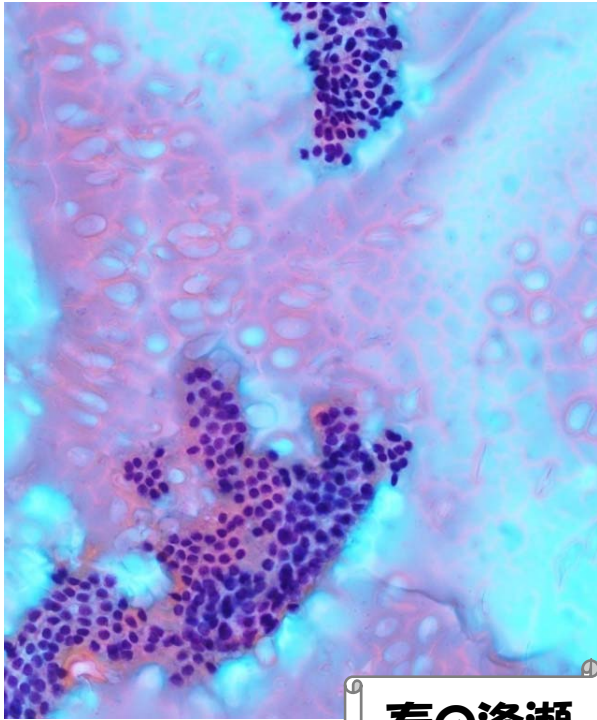
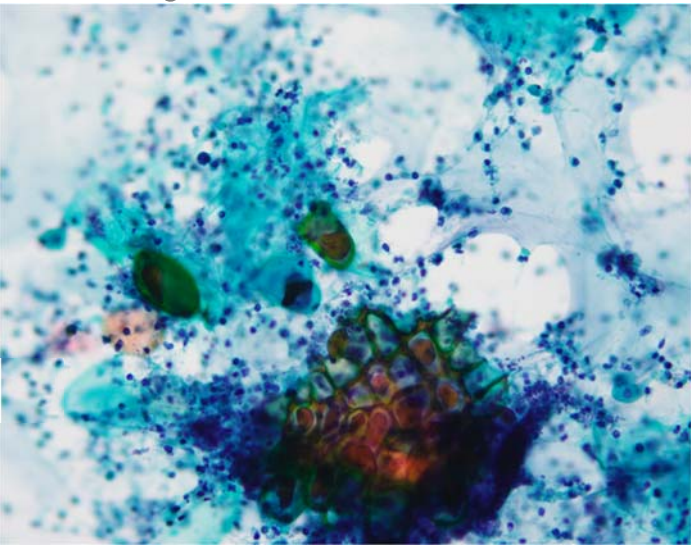


フーケ

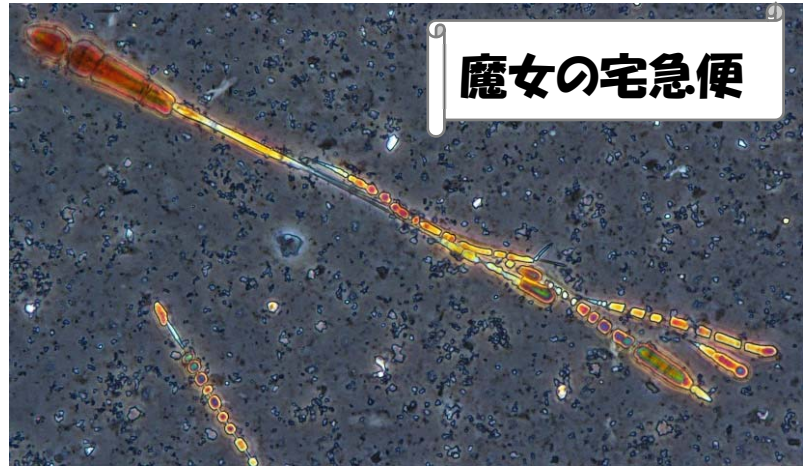


お魚み~つけた!

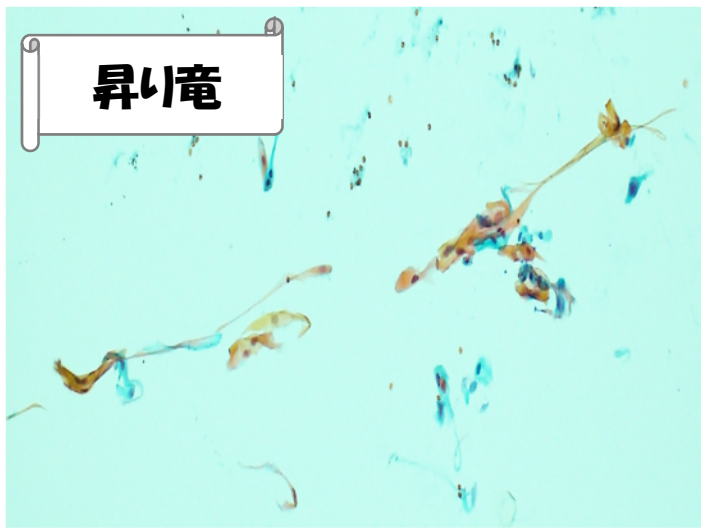
賑やかな海の中



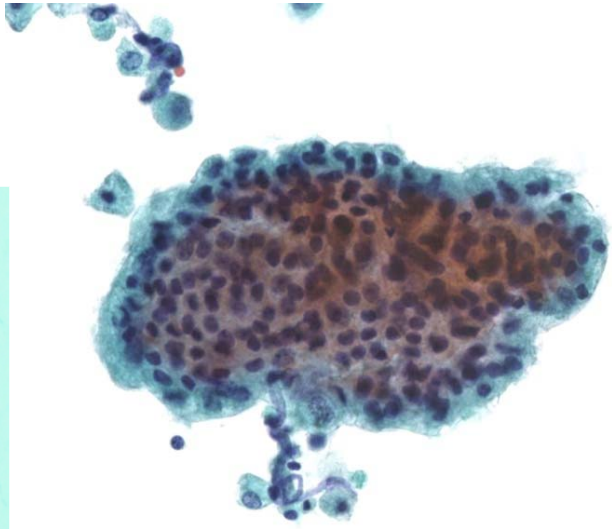
春の逢瀬



魔女の宅急便



鼻い竜



隠れミッキーを探せ

【平成 30 年 和歌山臨床細胞学会活動報告】

1 月 11 日 平成 30 年 第 1 回和歌山臨床細胞学会執行部会(18:30~19:15)

1. 第 43 回和歌山臨床細胞学会学術集会について
2. 第 44 回和歌山臨床細胞学会学術集会について
3. 第 45 回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会について
学術集会長：吉田恵 CT
副会長及び評議員は任期満了後、吉田さんから稲垣さんへ
細胞検査士会の会長を稲垣さんから田中さんに引き継ぎ予定
4. その他 次回の執行部会から永井さんに代わって木下さんが参加
【症例検討会】カテーテル尿 2 症例(紀南病院)

2 月 3 日 第 43 回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会

学術集会長 谷本 敏先生(和歌山労災病院 副院長)
会場 和歌山県 JA ビル、懇親会 ホテルアバローム紀ノ国

3 月 15 日 平成 30 年第 2 回和歌山臨床細胞学会執行部会(18:30~19:30)

1. 第 43 回和歌山臨床細胞学会学術集会について(会計報告)
2. 第 44 回和歌山臨床細胞学会学術集会について
・協賛、予算について ・会場について ・講師について
3. 第 45 回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会(2019 年和歌山担当)について
・プログラム等について
・会場について
4. 子宮の日(LOVE49)の活動について
5. その他
・組織標本の固定について：
遺伝子検査が増えているので、10%緩衝ホルマリンを使用したほうがよい(村田先生)
・横田先生の祝賀会の報告(田中さん)
【症例検討会】腎盂・尿管細胞診(紀南病院)

3 月 18 日 和歌山県細胞検査士会勉強会(11:00~15:00)

場所：和歌山労災病院 3 階大会議室
講師：田中真理先生(和歌山労災病院)
内容：中皮腫について~part II~、症例検討会

4 月 15 日 LOVE49 活動 子宮頸がん検診啓発活動について

和歌山市内：JR 和歌山駅中央口
パンフレットの配布、アンケート、ポスターを用いた子宮がんの説明
紀南地区：本宮大社前

4 月 28 日 LOVE49 活動 紀南地区：田辺市カッパーセンター

6 月 14 日 平成 30 年第 3 回和歌山臨床細胞学会執行部会(18:30~19:30)

1. 第 44 回和歌山臨床細胞学会学術集会について
・特別講演：前田宣延先生(内容) 婦人科領域
・教育講演：大田喜孝先生(内容) 髄液
2. 産婦人科医の会員扱いについて
・年会費はすべての会員の先生に請求する(学術集会の参加、不参加に関係なく)
・5 年未納/5 年学術集会不参加であれば退会という旨を告げる
・退会を希望する場合は事務局にメールにて連絡
3. 近畿連合会学術集会について
・各都道府県の担当連絡者(窓口)の確認
・第 44 回(今年度兵庫県開催)の内容について
・第 44 回学術集会において次期学術集会長挨拶は吉田さんと村田先生の 2 人です承を得る
・第 45 回近畿連合会学術集会(和歌山)の会場について
4. 49(子宮) の日の活動報告(会計報告)
【症例検討会】乳腺(成人病センター)

- 6月16日 和歌山県細胞検査士会勉強会(13:00~17:00)
 場所：日赤和歌山医療センター 本館6階 検査部技師控室
 講師：樋口観世子先生
 内容：甲状腺について（講義、隈病院の標本鏡検、樋口先生の解説）
- 8月30日 平成30年第4回和歌山臨床細胞学会執行部会（18:30~19:30）
1. 第44回和歌山臨床細胞学会学術集会について
 - ・懇親会の会場について
 - ・演者の先生の宿泊について
 - ・座長及び係りについて
 2. 産婦人科医の会員宛の通知書の確認
 会費納入のお願いをメール添付文書でおくり、確認していただく
 3. 第45回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会について
 4. 馬淵先生は執行部会をご勇退
- 10月7日 ピンクリボン紀南2018 熊野本宮大社ピンクライトアップ
 熊野古道リボンウォーク、乳がん講演会&コンサート
 点灯式と熊野本宮大社大斎原の大鳥居ライトアップ
- 10月18日 平成30年第5回和歌山臨床細胞学会執行部会（18:30~19:15）
1. 第44回和歌山臨床細胞学会学術集会について
 - ・日程の確認、案内はがきについて、タイムスケジュールについて
 2. 第45回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会について
 - ・第44回近畿連合会学術集会参加の報告（吉田さん）
 - ・ホームページのアドレスが決まり次第、近畿連合のホームページに案内を載せてもらう
 3. 第45回和歌山臨床細胞学会学術集会について
 日程：2020年2月1日(土)
 場所：日赤医療センターホールか看護学校の講堂
 集会長：真谷 亜衣子 CT（日本赤十字社和歌山医療センター）
- 12月20日 平成30年第6回和歌山臨床細胞学会執行部会(18:30~19:15)
1. 第44回和歌山臨床細胞学会学術集会について
 - ・タイムテーブルの変更について
 - ・宿泊、謝金の確認
 - ・スライドカンファレンスの出題者、回答者について
 - ・ドリンクサービスについて
 2. 第45回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会(2019年和歌山担当)
 - ・プログラムについて ・会場案について ・謝金について
 3. 第60回日本臨床細胞学会総会について
 - ・口演推薦者：田中真理 CT（和歌山労災病院 中央検査部）
 - ・ポスター推薦者：永井宏和 CT（和歌山県立医科大学付属病院中央検査部）
 4. 子宮の日の活動について
 - ・和歌山臨床細胞学会共催
 - ・2019年度はエバグリーンの健康フェアに合同参加の予定
 5. 所属の変更（宮木さん：日本赤十字社和歌山医療センターから海南医療センターに変更）
 【症例検討会】膀胱洗浄液（紀南病院）、腓液（紀南病院）

【平成31年 活動予定】

- 2月2日 第44回和歌山臨床細胞学会総会・学術集会
 学術集会長 峰 高義 CT (紀南病院 中央臨床検査部)
 会場 紀南病院講堂
- 9月8日 第45回日本臨床細胞学会近畿連合会学術集会(和歌山担当)
 学術集会長 吉田 恵 CT (和歌山労災病院 中央検査部)
 会場 和歌山県 JA ビル

- ◇ LOVE49 子宮の日の活動
- ◇ 和歌山県細胞検査士勉強会は年2回開催予定
- ◇ 執行部会は偶数月の第3木曜日 18:30～
 和歌山県立医科大学研究棟 7階 病理診断科にて開催予定

役員（平成31年1月1日現在）

会長	村田 晋一	和歌山県立医科大学 人体病理学教室 教授
副会長	井篁 一彦	和歌山県立医科大学 産科婦人科学教室 教授
	吉田 恵	和歌山労災病院 中央検査部主任
理事	稲垣 充也	公立那賀病院 臨床検査科
	今井 秀彰	桜ヶ丘病院 婦人科医長
	大石 博晃	和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部技師長
	尾崎 敬	紀南病院 中央臨床検査部部長
	真谷 亜衣子	日本赤十字社和歌山医療センター 病理診断科部 病理課長
	田中 真理	和歌山労災病院 中央検査部
	谷本 敏	和歌山労災病院 副院長
	坪田 ゆかり	和歌山労災病院 病理診断科部長
	土居 淳子	和歌山市医師会成人病センター
	峰 高義	紀南病院 中央臨床検査部
	吉田 隆昭	日本赤十字社和歌山医療センター 産婦人科部長
	監事	岡田 雄一
宮木 康夫		海南医療センター 検査部長

本学術集会は株式会社 LSI メディエンスより寄付をいただいております。

Advancing Cancer Diagnostics
Improving Lives



Leica
BIOSYSTEMS

HistoCore SPECTRAワークステーション 全自動染色封入装置

<ワークフローの標準化と効率改善を強力支援>

- 検証済み試薬とプロトコルで1~1600枚を一貫したクオリティで染色
- デュアルロボットアームでHE染色と特殊染色を同時処理
- デュアル封入ラインと内蔵オーブンで最大毎時570枚のスライドを封入・乾燥
- シングルスライドカウント方式による試薬管理で試薬のムダを削減



HistoCore SPECTRAワークステーション 全自動染色封入装置についての詳細は、
ライカマイクロシステムズ株式会社 ライカバイオシステムズ事業本部までお問い合わせください。

ライカ マイクロシステムズ株式会社 <http://www.LeicaBiosystems.com/jp> Email : lmc@LeicaBiosystems.com
本 社 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-9 Tel. 03-6758-5690 Fax.03-5155-4337
大阪セールスオフィス 〒531-0072 大阪市北区豊崎5-4-9 商業第2ビル10F Tel. 06-6374-9770 Fax.06-6374-9772
名古屋セールスオフィス 〒460-0008 名古屋市中区栄2-3-31 CK22キリン広小路ビル5F Tel. 052-222-3939 Fax.052-222-3784
福岡セールスオフィス 〒812-0025 福岡市博多区店屋町8-30 博多フコク生命ビル12F Tel. 092-282-9771 Fax.092-282-9772

あなたの笑顔がうれしい

抗がん剤の研究開発に取り組んで半世紀

世界のがん治療に貢献したい

これからも



いつもを、いつまでも。  大鵬薬品

<https://www.taiho.co.jp>

抗悪性腫瘍剤
ヒト化抗ヒトPD-1モノクローナル抗体

薬価基準収載

キイトルーダ® 点滴静注
20mg・100mg

ペムプロリズマブ(遺伝子組換え)製剤


KEYTRUDA®

生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については
添付文書をご参照ください。

 **MSD** 製造販売元
MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア
<http://www.msd.co.jp/>

販売提携
 **大鵬薬品工業株式会社**
東京都千代田区神田錦町1-27

2018年2月作成
KML18AD087N-0223

婦人科検査のトータルソリューション 1度の採取で3つの検査



■ 液状化検体細胞診のプレザーブサイト液をプラットフォームとして、細胞診+HPV検査の他にクラミジア・淋菌検査が加わり、婦人科検査のトータルソリューションを提供します。

■ 自動化機器により、検査の標準化と効率性の向上に貢献します。

細胞診検査				遺伝子検査
左から:ThinPrep®2000プロセッサ, ThinPrep®5000プロセッサ, ThinPrep®5000プロセッサ AutoLoader		ThinPrep® イメージングシステム		パンサー®システム

販売名:ThinPrep2000プロセッサ 届出番号:13B1X10179001001 | 販売名:ThinPrep5000プロセッサ 承認番号:13B1X10179001002 | 販売名:ThinPrepインテグレートイメージャ 承認番号:13B1X10179001003 | 販売名:ThinPrepイメージングシステムDuo 承認番号:13B1X10179001008 | 販売名:パンサーシステム 承認番号:13B3X10080002001

ホロジックジャパン株式会社
〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教ビル TEL.03-5804-2340(代) FAX.03-5804-2320
Hologic, ThinPrep, アプティマはHologic, Inc.およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
© 2016 Hologic, Inc. All rights reserved.

HOLOGIC®
The Science of Sure

すべての革新は患者さんのために



中外製薬

Roche ロシュグループ



at the Front Line
CHUGAI ONCOLOGY

中外製薬のがん領域製品ラインナップ

抗悪性腫瘍剤／抗PD-L1^{注1)}ヒト化モノクローナル抗体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品^{注2)} **薬価基準収載**

テセントリク[®]点滴静注 1200mg*

アテゾリズマブ(遺伝子組換え)注

抗悪性腫瘍剤 抗VEGF^{注3)}ヒト化モノクローナル抗体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品^{注2)} **薬価基準収載**

アバズチン[®]点滴静注用 100mg/4mL 400mg/16mL

ベバシズマブ(遺伝子組換え)注

光線力学診断用剤

処方箋医薬品^{注2)} **薬価基準収載**

アラグリオ[®]顆粒剤分包 1.5g***

アミノレブリン酸塩酸塩顆粒剤

遺伝子組換えヒトG-CSF製剤

生物由来製品、処方箋医薬品^{注2)} **薬価基準収載**

イトロシン[®]注 50μg 100μg 250μg

レノグラステム(遺伝子組換え)製剤

抗悪性腫瘍剤／ALK^{注4)}阻害剤

劇薬、処方箋医薬品^{注2)} **薬価基準収載**

アレセンサ[®]カプセル 150mg

アレクチニブ塩酸塩カプセル

抗HER2^{注5)}ヒト化モノクローナル抗体 抗悪性腫瘍剤

生物由来製品、処方箋医薬品^{注2)} **薬価基準収載**

ハーセプチン[®]注射用 60 150

トラスツズマブ(遺伝子組換え)製剤

抗悪性腫瘍剤 ヒト化抗CD20モノクローナル抗体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品^{注2)} **薬価基準収載**

ガザイバ[®]点滴静注 1000mg****

オビヌツズマブ(遺伝子組換え)注

抗悪性腫瘍剤／抗HER2^{注5)}ヒト化モノクローナル抗体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品^{注2)} **薬価基準収載**

パージェタ[®]点滴静注 420mg/14mL*

ベルツズマブ(遺伝子組換え)注

抗HER2^{注5)}抗体チューブリン重合阻害剤複合体

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品^{注2)} **薬価基準収載**

カドサイラ[®]点滴静注用 100mg* 160mg

トラスツズマブ エムタンシン(遺伝子組換え)注

抗CD20モノクローナル抗体

生物由来製品、処方箋医薬品^{注2)} **薬価基準収載**

リツキサン[®]点滴静注 100mg** 500mg

リツキシマブ(遺伝子組換え)製剤

※効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

注1)PD-L1: Programmed Death-Ligand 1

注2)注意-医師等の処方箋により使用すること

注3)VEGF: Vascular Endothelial Growth Factor(血管内皮増殖因子)

注4)ALK: Anaplastic Lymphoma Kinase(未分化リンパ腫キナーゼ)

注5)HER2: Human Epidermal Growth Factor Receptor Type 2
(ヒト上皮増殖因子受容体2型、別称: c-erbB-2)

*の®はF. Hoffman-Larocha社(スイス)登録商標

[資料請求先]

中外製薬株式会社
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

**

[製造販売元] [資料請求先]

全薬工業株式会社
〒112-8650 東京都文京区大塚5-6-15

[製造販売元] [資料請求先]

SBIファーマ株式会社
〒106-6020 東京都港区六本木一丁目6番1号

[販売] [資料請求先]

日本新薬株式会社
〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門町14

at the Front Line
CHUGAI ONCOLOGY

がん闘う最前列で、希望に向かう最善策を。それが、中外オンコロジーの願い。
高度な研究開発力、画期的な製品ライン、グローバルな情報提供力、
専門性豊かな組織とスタッフで、がん治療をサポートしていきます。

2018年8月作成



ティシュー・テック® TEC 6
パラフィン包埋ブロック作製装置



だれでも、いつでも
 使いやすさを追求した包埋センター



サクラファインテックジャパン株式会社
www.sakura-finetek.com

continuous innovation for pathology



L726.1811.A41/2.T

What's *Plus*?

Speed〈処理能力〉 Flexible〈柔軟性〉 Reliable〈信頼性〉

Automated Slide Stainer and Coverslipper

自動染色装置と
 自動ガラス封入装置の連結で、
 ワークフローの効率化を実現



自動ガラス封入装置

ティシュー・テック® グラス™ ジー2 + ティシュー・テック® プリズマ™ プラス

製造販売届出番号 20B2X00014000023

自動染色装置 DRSシリーズ

製造販売届出番号 20B2X00014000034



サクラファインテックジャパン株式会社

東京都中央区日本橋本町3-1-9

<http://www.sakura-finetek.com>

L684.1706.B51/2.R1.T

第 44 回和歌山臨床細胞学会総会学術集会

《事務局》

和歌山県立医科大学・人体病理学教室

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1

電話: 073-441-0635 FAX: 073-444-5777

メール: wsc@wakayama-med.ac.jp

ホームページ: <http://wsc.umin.jp>